

ネーミングライツ契約締結
総合体育館の愛称は「東急コミュニティーアリーナ倶知安」へ



2月4日(水)に役場にてネーミングライツ契約締結式が行われ、倶知安町総合体育館の愛称が、「東急コミュニティーアリーナ倶知安」に決定しました。こちらの愛称は3月1日から令和11年2月28日まで使用されます。

今回ネーミングライツ契約を締結した、株式会社東急コミュニティーは、本施設に隣接している旭ヶ丘スキー場の管理運営を行っています。冬はスキーで賑わい、夏は豊かな自然が魅力的なこの場所を、本施設をはじめ、町を人々が集い、交流し、エネルギーが循環する拠点を創出したいという思いのもと、応募していただきました。

ネーミングライツとは？
○ネーミングライツとは、企業などが施設の名称を付ける権利を取得する制度で、契約により施設名に企業名やブランド名が使われます。地域へのメリットは？
○企業との協働によりイベントや、地域PRの機会拡大など地域活性化につながることで期待されます。



▲町長と青木太郎営業開発本部長

町の施設としては初のネーミングライツの導入となり、また、同社がネーミングライツを取得するのも初の事例です。締結式において文字町長は、「町としてもこの愛称が浸透するよう努めるとともに、確保した財源を体育館の利用環境の維持・向上に役立てていく所存です。今後も町民のみなさまが健やかに活動できる場所を提供し続けてまいります。」と語りました。

ネーミングライツ・パートナー決定内容

ネーミングライツパートナー	株式会社東急コミュニティー
愛称（日本語）	東急コミュニティーアリーナ倶知安
愛称（英語）	Tokyu Community Arena Kutchan
契約締結日	2026（令和8）年2月4日
ネーミングライツ使用期間	令和8年3月1日から令和11年2月28日（3年間） ※契約締結日から2月28日までは準備期間

中学校・高校スキー全国大会が開催！
くっちゃん子が全国の大舞台へ挑戦！

2月に『第63回全国中学校スキー大会』『第75回全国高等学校スキー大会』が開催され、全国の舞台で『くっちゃん子』が健闘しました。（敬称略、順位太字は入賞）

第63回全国中学校スキー大会
（2月3日(火)～6日(金)、長野県）
【クロスカントリー競技】
押尾 友晴（倶知安中学校2年）
男子クラシカル20位、フリー21位

1月21日(水)、全国大会の出場を控えた倶知安中学校の押尾友晴さんが役場を訪れ、文字町長らに出場報告を行い、力強く抱負を語ってくれました。



第75回全国高等学校スキー大会
（2月3日(火)～8日(日)、新潟県）
【クロスカントリー競技】
船場 凱安（倶知安高3年）
男子クラシカル2位、フリー12位
山本 陽崇（倶知安高2年）
男子クラシカル23位、フリー31位
関 胡太郎（倶知安高3年）
男子クラシカル38位、フリー22位
原田 武道（倶知安高1年）
男子クラシカル37位、フリー25位
高木 優佳（倶知安高1年）
女子クラシカル22位、フリー44位
原田・山本・関・船場
男子リレー2位
倶知安高校
男子総合9位



▲男子リレー2位の左から船場・関・山本・原田選手

景観まちづくり協議会「ツクルバ」
これからのまちづくりを考える

1月21日(水)に第4回景観まちづくり協議会「ツクルバ」が開催されました。



第1部では、12月まで募集していた「くっちゃんフォトコンテスト」のツクルバ賞の選定が行われ、町民の視点で倶知安の景観を表現した3点が選ばれました。

続く第2部では、倶知安高校3年の大畑乃菜さんが「町に住み続けたいと思うまちづくり」というテーマで探究学習発表を行いました。参加者とこれからのまちづくりについて意見交換もを行い、まちづくりに対する高校生からの視点を学ぶ良い機会となりました。

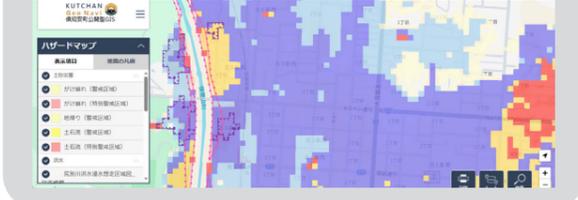


☎まちづくり新幹線課景観室 ☎56-8012

町から新機能のお知らせ
「公開型 GIS」を導入します

町では、地域の地図情報をインターネット上で手軽に閲覧できる「公開型 GIS（地理情報システム）」を新たに導入いたします。

このシステムでは、防災マップや都市計画、道路情報など、これまで役場の窓口で確認していた情報をお手持ちのスマートフォンやパソコンからいつでも確認いただけます。



日々の生活の利便性向上や、災害への備えとして、ぜひご活用ください。

公開日時：3月2日（月）10：00
アクセスは二次元コードから
☎総務課電算係 ☎56-8000



忙しい作業の合間に簡単手続き

引っ越しの手続きはオンライン申請が便利



例年、3・4月は引っ越しに伴う手続きで来庁する方が多くなるため、窓口が大変混雑します。

特に本町の場合は、官公庁の職員や外国籍住民などが他市町村と比べて多く、この時期は異動が集中するため、長いときには窓口での手続きが、**90分以上の待ち時間**になることもあります。



転出届や水道の使用に関する申し込みなど、一部の手続きはオンラインでも可能です。窓口の混雑回避のためにも、オンライン申請の活用をお願いします。なお、お子さんのいる方は、窓口で手続きが必要な場合があります。詳細は町HPをご確認ください。



※オンライン申請には、対応するスマートフォンが必要になります

マイナポータルからオンラインで転出届!

マイナンバーカードを所有している方は、マイナポータルからオンラインで転出届の手続きができます。

※同一世帯の場合は一緒に手続き可能

マイナポータルはこちら



.....

ほかにオンライン申請が可能なもの

- 水道の使用開始・中止の申し込み
- 保育所退所・認定こども園の退園手続き
- 放課後児童クラブ退会の手続き
- 医療費助成の喪失手続き

※転入届は転入先の市区町村窓口で手続きが必要です

.....

オンライン申請のメリット

- 役場への来庁が不要で待ち時間がない
- いつでも手続きができる
- 転入時に必要な手続きや持ち物が確認できる



引っ越しが多くなる季節です
正しいごみの分別・搬入を



引っ越しの際に出やすいごみの分別と搬入先

もやせるごみ
資源ごみとらない紙ごみ・使用済みガムテープなど ⇒清掃センター・ごみステーションへ
もやせないごみ
発泡シート・緩衝材(プチプチ)・ビニール製のひもなど ⇒清掃センター・ごみステーションへ
資源ごみ
ミックスペーパー・新聞紙・チラシ・段ボール・雑誌・蛍光管・電球・菓子やティッシュペーパーの箱(紙製容器包装)・ペットボトル・空きびん・空き缶・発泡スチロールなど ⇒清掃センター・エコガレージ・ごみステーションへ
家電リサイクル品
テレビ・冷蔵庫・洗濯機・衣類乾燥機・エアコン ⇒家電取扱店・ニセコ環境(株)へ
スプリングマット
スプリングマットレス・ソファなど ⇒ニセコ環境(株)へ
粗大ごみ ※収集していないため直接搬入のみ
たんす・本棚・テーブル・テレビ台・じゅうたんなど ⇒清掃センターへ

※「資源ごみ」以外は搬入に費用がかかります

清掃センター利用の際の注意事項

事前に分別区分にまとめる

「バラ積み・混載・結束しない」などの状態では持ち込まないでください

大量のごみは事前連絡を

トラックなどの大型車両で大量にごみを持ち込む場合は、事前に清掃センターまでご連絡ください

ごみの分類を守りましょう

清掃センターは一般廃棄物のみを受け入れる施設です。産業廃棄物の処理はニセコ環境(株)が行っています



ごみの分別ルールを分かりやすく解説する動画ができました!

動画は右の二次元コードからチェック!



住民環境課環境対策室 ☎ 56 - 8008
清掃センター ☎ 22 - 5355
ニセコ環境(株) (字峠下) ☎ 22 - 0745

じゃが太スポーツクラブで
春の雪上を楽しもう!



- 「半月湖周辺の散策」**
- 日時 / 3月14日(土) 9時30分～11時30分 (9時15分集合)
 - 集合場所 / 羊蹄登山口駐車場(下)
 - 持ち物 / スノーシュー、ストック、飲料水、軽食、手袋(交換用)、リュックなど
※スノーシューとストックは貸出有(15台)
 - 定員 / 15名(小学校高学年以上の自力で歩ける方)
 - 参加料 / 中学生以上1人200円、小学生100円(参加費は当日支払い)
 - 申込 / 3月12日(木)までに東急コミュニティーアリーナ倶知安へ申し込み
- ☎ じゃが太スポーツクラブ事務局(石田)
東急コミュニティーアリーナ倶知安
☎ 22 - 2288

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業
くっちゃん生活応援金給付事業

国内で長引く食料品の価格高騰による影響を受けた町民に対する支援策として町民1人あたり現金1万3千円の給付を行います。

「生活応援金」の給付を受けるには、申請手続きが必要になります。送付されている案内および申請書をご確認いただき、期限内に忘れず申請してください。

■対象者 / 対象となる方には案内及び申請書が送付されています。

■申請方法 / ①か②の方法で申請できます。

①二次元コードから申請



②送付された申請書に必要な事項を記入し振込先口座名義などのわかる書類をつけて

- ・郵送: 返信用封筒に入れ投函
- ・直接提出: 役場窓口へ提出

■申請期限 / 6月1日(月)まで

☎ 総合政策課 ☎ 56 - 8001

**中学生への第一歩
中学校体験授業**

2月3日(火)に倶知安小学校と北陽小学校、東小学校、また、6日(金)には西小学校と樺山分校において、倶知安中学校の教員2名による、中学校の説明と、中学で学ぶ理科の体験授業が行われました。

説明では、小学校との学習時間の違いや、部活動の説明などを受け、6年生の児童たちは中学校での生活をよりに感じていました。

また、理科の体験授業では、「いろいろな物質とその性質」についての授業が行われ、児童たちは小学校との学びの違いを体感しました。



▲西小学校の様子



▲樺山分校の様子

ShiriBeshiのこれからについて考える

インターシッパや地域交流を通じて、後志地域の魅力を知ってもらおう「ShiriBeshi」グローバルインターンシップ(主催:後志総合振興局)の事前研修が2月2日(月)、3日(火)の2日間で行われました。

2月2日の研修では、文字町長と、地域プロジェクトマネージャーの佐藤さんによる講話が行われ、参加した学生は熱心に聞き入りました。

2月3日には、後志地域で活躍する方たちをゲストに迎え、貴重な体験談を聞き、前日の講話もあわせて、それぞれが考えるShiriBeshiのこれからについて、考えを巡らせ参加者同士で共有しました。